

仙台市立南吉成小学校 タグラグビー講習会

8月24日（火）仙台市立南吉成小学校にて同校の先生20名参加により9：30より11：30までの2時間で講習会を実施しました。今回は、南吉成小学校単独の開催でしたが20名の先生方に集まっていただきました先生同士がとても仲良く和気あいあいと講習会を受けていただきました。

斉藤校長先生のあいさつの後さっそく長曾我部講師の講習会が始まりました。まず、タグラグビーは運動量が多いので誰にでも必ずボールが回る（誰もが必ずボールを持って走れる）運動が得意な子も不得意な子も一緒にできトライをすることにより達成感を得られ、仲間と協力することにより仲間を尊重することができる教育効果があるタグラグビーの効能を話してもらいました。

タグラグビーってどんなゲーム



ボール運びで準備運動（ウェストに効きます！）



1対1のタグ取り



ロブザネスト（どろぼうゲームです）



次に、サッカーやバスケットボールと違う点・タグラグビーをする前の準備運動として遊び感覚のゲームの紹介を
実際にやりながら（楽しみながら）体験してもらいました。準備運動のゲームのときから大粒の汗を流しながら
取組んでもらい、そしてタグラグビーのゲームをしました。やっぱり夢中になってゲームを楽しんでいました。
最初は、前パス（スローフォワード）だけ禁止していましたが、すぐに慣れてきたので前にボールを落とす（ノック
待伏せてボールを取る（オフサイド）を取入れると、なかなか・・・また、ラグビーでの前・後ろの意味が理解する
時間がかかっていました。（ボールを落としたのに反則じゃないの？）→前に落とすのがノック

（レフリーが下がって→自陣を向いていたので敵陣に向かってバックして行く）ラグビー関係者では当たり前のこと
なのですが、ラグビーを知らない人にとっては変なルールなのです。

しかし、サッカーやバスケなどの少年団などに所属している子とそうでない子のルールでの差がないため
ハンディキャップがなくなるので教えやすくなるのではないのでしょうか。

先生からの質問で答えられなかったこともありました。今後の課題がたくさん見つかりましたありがとうございます。
暑い中大汗を掻きながらの講習会お疲れ様でした。

夢中になってゲームをしています。



作戦会議？



最後にどうでしたか？→楽しかった→子供たちも楽しめると思います！



宮城県ラグビー協会参加者

長曽我部・千葉・大友